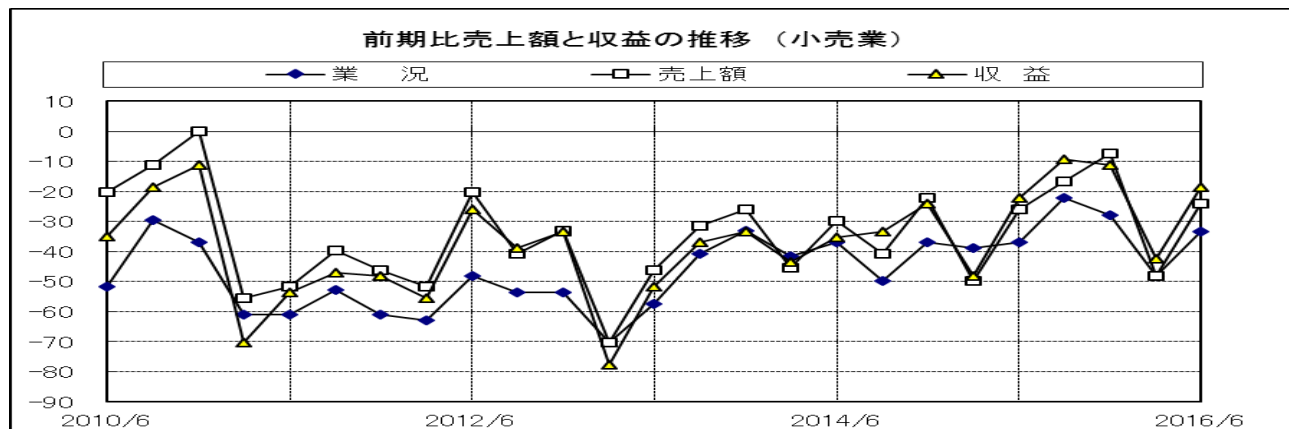


小 売 業 54 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績
業 況	-27.8	-48.2	-33.3	-37.0
売上額	-7.4	-48.1	-24.1	-18.5
収 益	-11.1	-42.5	-18.6	-24.1

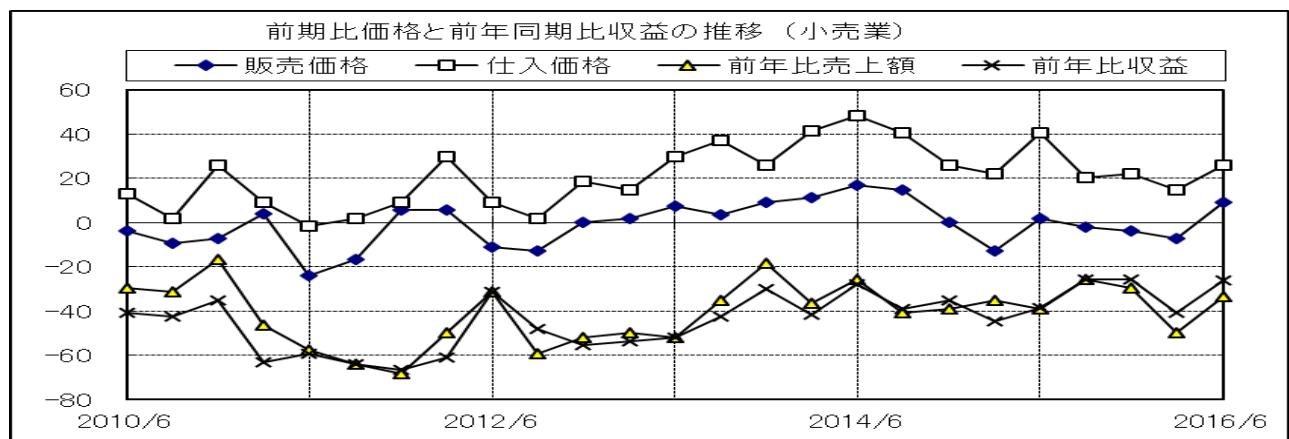
今期の業況判断 D. I. は△33.3 と、前期比 14.9 ポイント上昇し良化した。地区別の D. I. は高い順に、静内、広尾、浦河、三石、えりも、様似と続いた。業況判断 D. I. は、前年（△37.0）比 3.7 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. は△24.1 と、前期比 24.0 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△18.6 と、前期比 23.9 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	-3.7	-7.4	9.2	7.3
仕入価格	22.2	14.8	25.9	26.0

販売価格判断 D. I. は 9.2 と前期比 16.6 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 25.9 と前期比 11.1 ポイント上昇した。販売価格は前年（1.9）比で 7.3 ポイント上昇。仕入価格は前年（40.7）比 14.8 ポイント下降した。業種別で衣料品・食料品・は販売価格、仕入価格ともに上昇。家電品は販売価格、仕入価格ともに下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-1.9	-9.2	-9.4	-11.1
人手状況	-11.1	-13.0	-16.7	-16.7

残業時間判断 D. I. は△9.4 と、前期比 0.2 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が若干増加した。

人手過不足判断 D. I. は△16.7 と、前期比 3.7 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

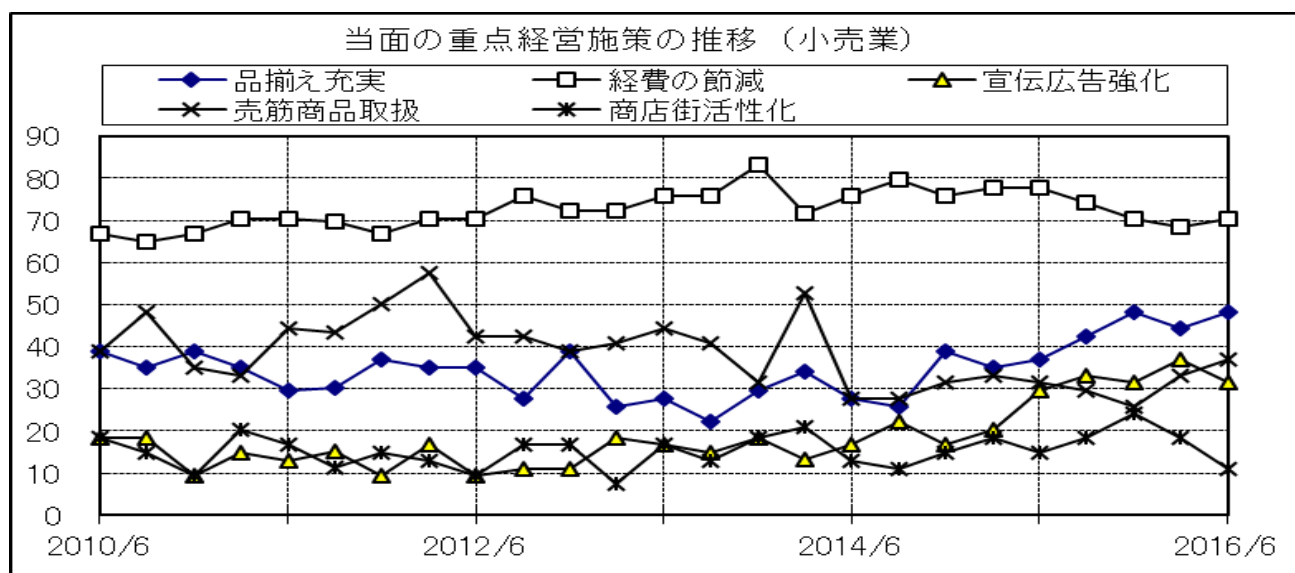
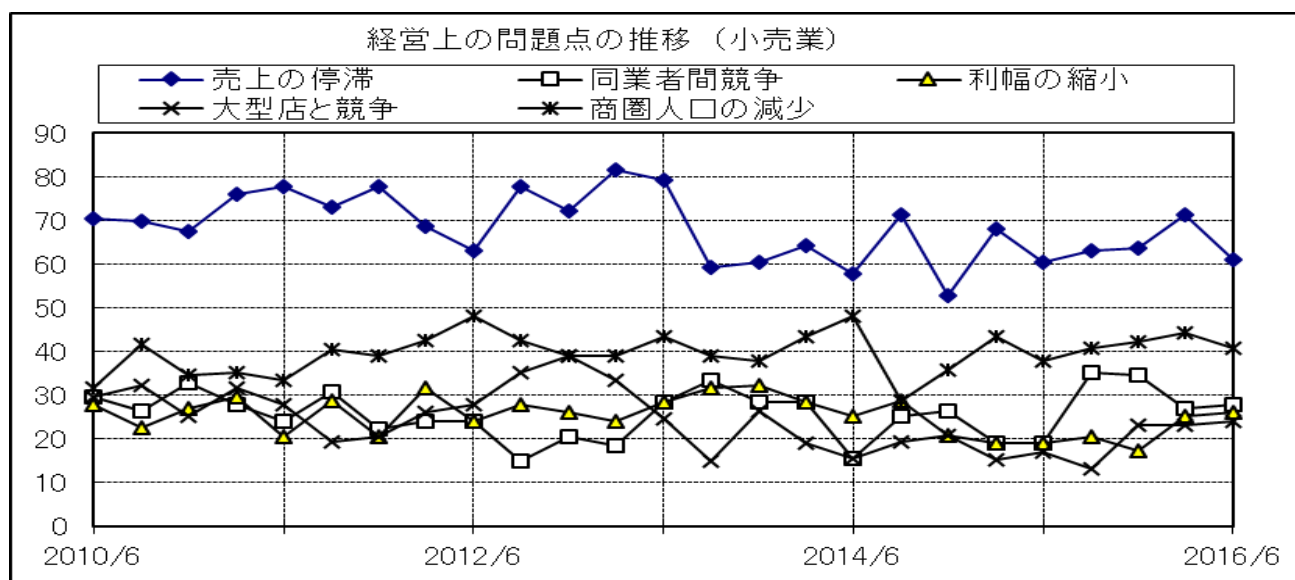
設備投資の充足感を示すD. I. は△14.9 と、前期比 0.1 ポイント下降した。

設備実施企業割合は 7.4% と、前期比 3.7 ポイント上昇、設備投資は、前期 2 社に対し、4 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 1 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」61.1%、「商圈人口の減少」40.7%、「同業者との競合」27.8%、「利幅の縮小」25.9%、「大型店との競合」24.1%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」70.4%、「品揃えを改善する」48.1%、「売れ筋商品取扱」37.0%、「宣伝広告を強化」31.5%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△37.0 と、今期比 3.7 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△18.5 と、今期比 5.6 ポイントの上昇を見通している

予想収益判断 D. I. は△24.1 と、今期比 5.5 ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 7.3 と、今期比 1.9 ポイントの下降を見通している。

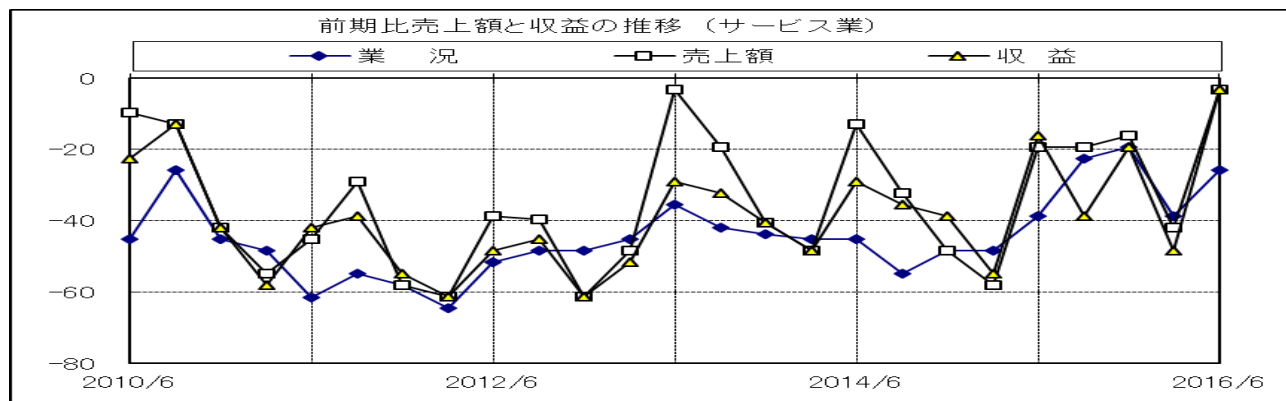
予想仕入価格判断 D. I. は 26.0 と、今期比 0.1 ポイントの上昇を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-19.3	-38.7	-25.9	-22.6
売上額	-16.1	-41.9	-3.3	-12.9
収 益	-19.3	-48.4	-3.2	-22.6

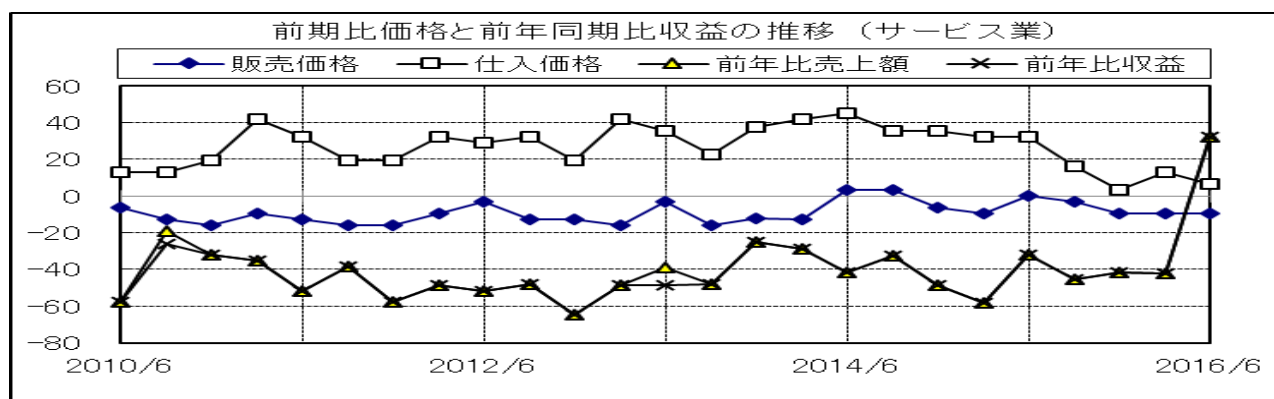
今期の業況判断 D. I. は△25.9 と、前期比 12.8 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内・浦河・えりもが同水準、次に様似、三石が続き、広尾が最も低い水準となった。前年（△38.7）比では 12.8 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. は△3.3 と、前期比 38.6 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△3.2 と、前期比 45.2 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
料金価格	-9.7	-9.7	-9.7	-3.2
材料価格	3.3	12.9	6.4	6.4

料金価格判断 D. I. は△9.7 と前期比横這い。材料価格判断 D. I. は 6.4 と前期比 6.5 ポイント下降した。業種別にみると料金価格は、自動車整備業で料金・材料価格ともに上昇。洗濯理容業は料金・材料価格ともに下降した。料金価格は前年（0.0）比で 9.7 ポイント下降。材料価格は前年（32.2）比で 25.8 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-9.7	-12.9	-19.3	-12.9
人手状況	-3.2	-12.9	-22.6	-22.6

残業時間判断 D. I. は△19.3 と、前期比 6.4 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△22.6 と、前期比 9.7 ポイント下降し、人手不足感は一段と強まった。

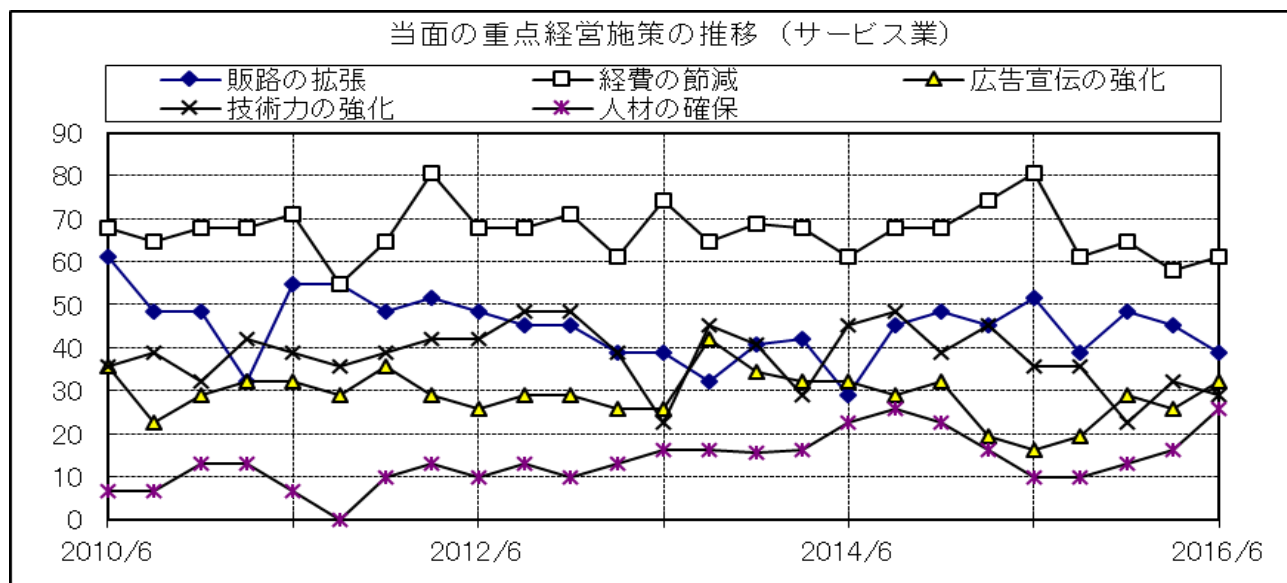
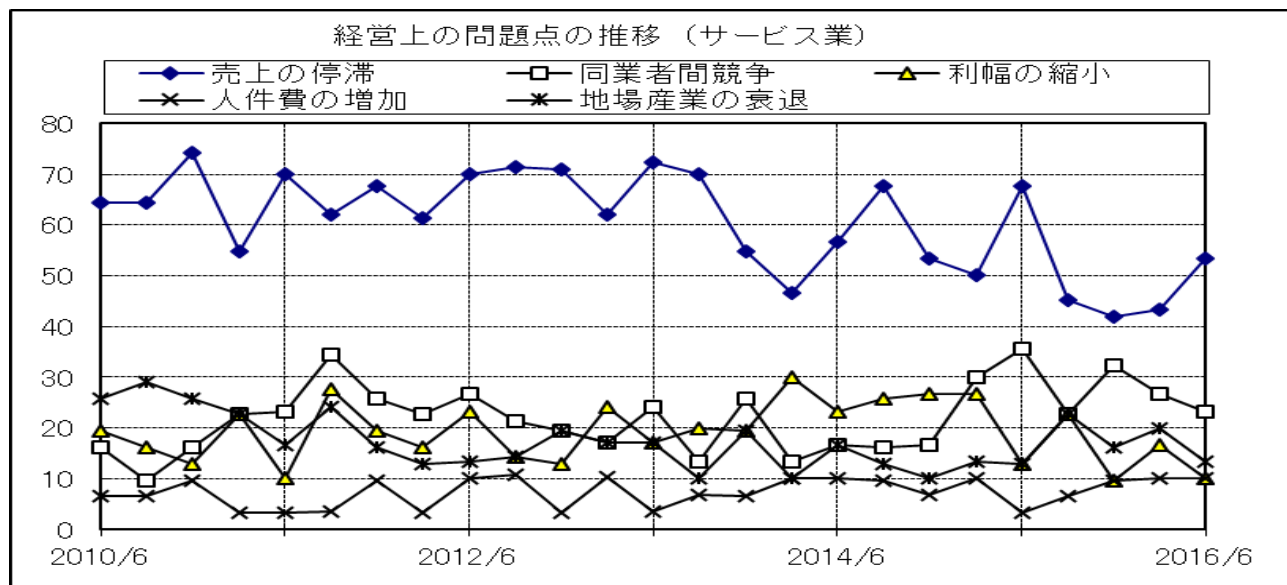
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は $\Delta 19.4$ と、前期比 9.7 ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は 25.8 で前期比 12.9 ポイント上昇、設備投資は、前期 4 社の実施に対し、8 社の実施となった。来期の設備投資は 5 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上上の停滞減少」53.3%、「商圈人口の減少」40.0%、「同業者との競合」「材料価格の上昇」23.3%、「取引先の減少」20.0%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」61.3%、「販路を広げる」38.7%、「宣伝広告の強化」32.3%、「技術力を強化する」29.0%、「人材の確保」25.8%、と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は $\Delta 22.6$ と、今期比 3.3 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断 D. I. は $\Delta 12.9$ と、今期比 9.6 ポイントの下降を見通している。

予想収益判断 D. I. は $\Delta 22.6$ と、今期比 19.4 ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断 D. I. は $\Delta 3.2$ と、今期比 6.5 ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断 D. I. は 6.4 と、今期比同率の横這いを見通している。